第 47 号

協議会だより

令和８年３月号

一般社団法人　久喜市学童保育運営協議会

漢字はおもしろい※

理事長　橋本　久雄

保護者の皆様には今年度も当久喜市学童保育運営協議会に対し御理解・御協力をいただきましてありがとうございます。心から御礼申し上げます。
来年度も変わらぬお力添えを是非お願いしたいと存じます。

さて，過去２回に渡って SNS やタブレットなど世の中のデジタル化の話題を取り上げました。今回は児童の皆さんが小学校６年間で学習する漢字について，改めて振り返ってみたいと思います。漢字は日常生活の中で一般的に使われる漢字 2136 字を常用漢字と定めています。(2010 年改訂)

小学校６年間では 1026 字を学習することが義務付けられています。実に常用漢字のうち，48%を学習するのです。久喜市学童保育運営協議会の 12 文字を学年別に並べてみましょう。

久→５年　喜→５年　市→２年　学→１年　童→３年　保→５年　育→３年
運→３年　営→５年　協→４年　議→４年　会→２年

このようにこの 12 文字は５年生の学習が終わると必ず書くことが出来る訳です。
６年生になった皆さんこの 12 文字がスラスラ書けるようになりましたか。

私も色々な原稿を書く機会がありますが，キーボードに打ち込む前に必ず鉛筆で下書きをします。鉛筆はＢか２Ｂです。

結びに，私は，「1026 字の正しい書き方」(600 円)をいつも手許に置いています。保護者の皆様是非お子様と一緒に改めて漢字について学んでみませんか。

※面白いとも書きますが，面(めん)(3 年)をおもとは小学校では習いません。

職員研修会を実施しました

「子は親の鏡」

If children live with recognition, they learn it is good to have a goal.
子どものなしとげたことを認めてあげれば、目的を持つことの素晴らしさを学びます。

引用『子どもが育つ魔法の言葉』ドロシー・ロー・ノルト 著

令和7年 11 月 18 日に協議会全職員を対象とした職員研修会を実施しました。臨床発達心理士の増田忠男様より「気になる子の理解と支援～発達や特性と関わり方を考える～」という大変貴重な講話をお伺いしました。
“「よい子」ってどんな子？”という問いから始まり、発達・特性・障がいとはそれぞれどんなものなのかを学びながら、気になるこども達との関わり方について考えました。
学童保育では日々、多種多様なこども達が生活しています。1人1人の発達の速度や、特性を理解しながら、適切な保育をしていかなければならないと改めて感じました。こどもの発達や成長には周囲の環境からも大きく左右されるので、職員一同がこども達に対する声掛けや接し方に注意をしながら、保育活動に当たってまいります。

早いもので今年度も残り数週間となりました。１年間、本協議会へのご理解、ご協力をいただきまして誠にありがとうございました。
今年度開催した様々な研修会等を活かし来年度もより良い学童保育運営に努めてまいります。引き続きご理解とご協力をいただけますようよろしくお願いします。

発行 / 一般社団法人
久喜市学童保育運営協議会
〒346-0013
久喜市青葉 1-2-2 地域交流センター内
TEL 0480－24－3922
FAX 0480－24－3924
メール kukigakudou@feel.ocn.ne.jp
ホームページ http://kukigakudou.jp/

久喜っ子の安全基地